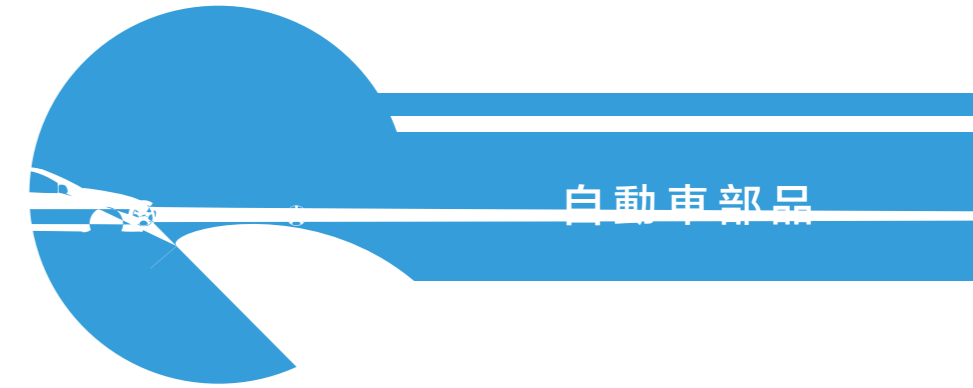




KAM KIU ALUMINIUM GROUP



www.kamkiu.com

本社 HQ:

Kam Kiu Aluminium Products Group Ltd.

Add:Rm17, 18/F, Concordia Plaza, 1 Science Museum Road,
Tsimshatsui East, Kowloon, Hong Kong

Tel:+852 2302 0808

Fax:+852 2302 0062

Email:info@kamkiu.com

生產 Production Base n Base :

Taishan City Kam Kiu Aluminium Extrusion Co.,Ltd.

Add:Dajiang County, Taishan City, Guangdong, China

Post:529261

Tel:+86 (750) 543 8596

Fax:+86 (750) 543 8173



Company Profile

金橋材集団は1983年に設立され、現在の社員数は2300人あまりで、主には1-7シリーズの各アルミ合金材の生産をし、金型の設計と製造、合金の鋳造、型材の押し出し、表面処理と深い処理を一式に扱うプロフェッショナルな企業です。現在には30本の正方向と4本の逆方向の押し出しラインがあり、550USTから6180USTまで、2台のエアライド鋳造システムがあります。製品にはハイスペックな電子商品、自動車、軌道交通、船舶、産業応用と建築などの分野のアルミ材を幅広く扱っています。

金橋材集団は複数の国際認証に合格し、中にはISO9001品質管理体系認証、IATF16949自動車部品品質管理認証、DNVノルウェー船級協会認証、BVフランス船級社認証、CCS中国船級認証、ISO14001環境保護品質体系の認証、OHSAS18001職業健康安全管理体系認証などに合格となっております。

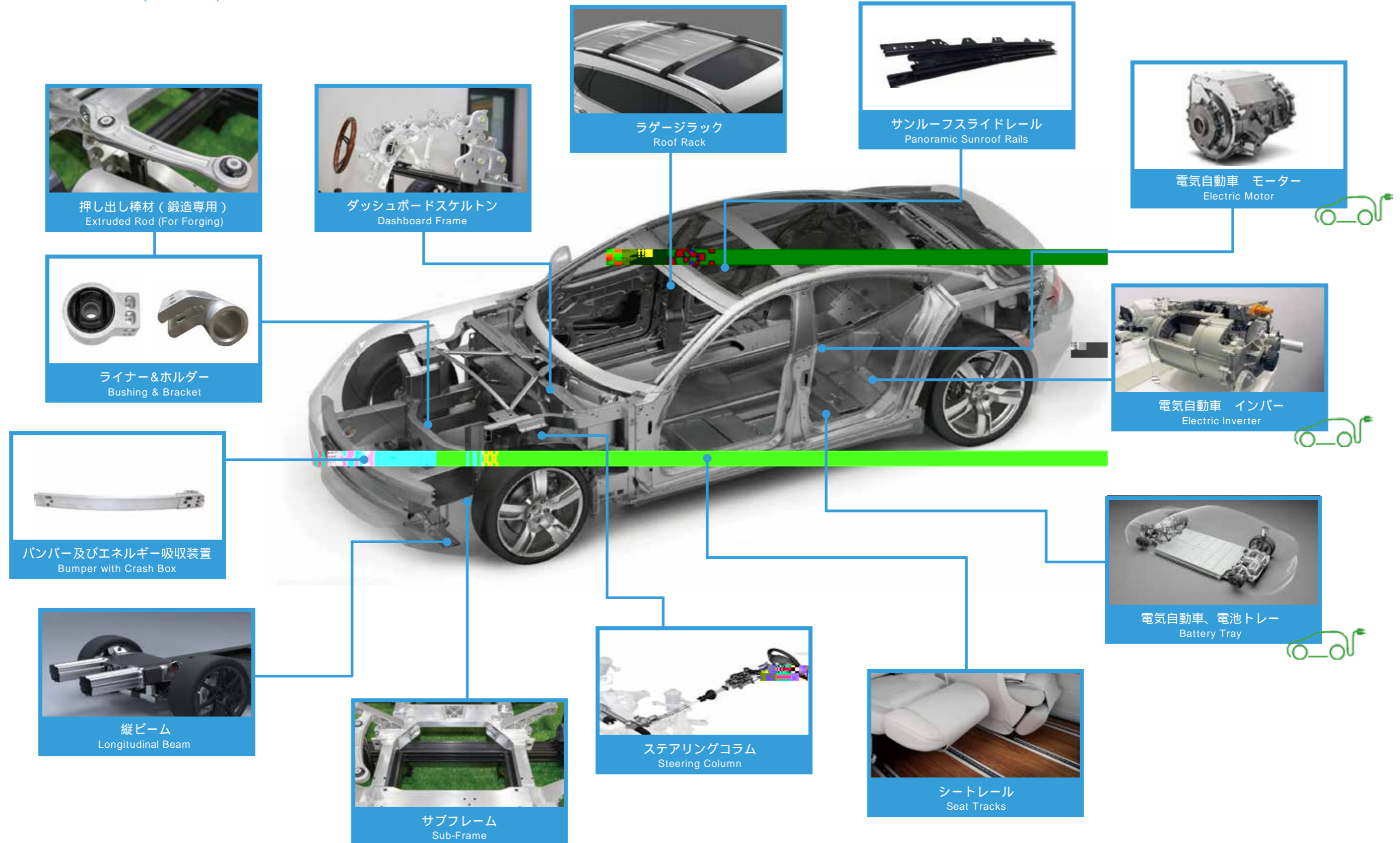


Process

Certification



Product introduction (Auto Parts)



Production Equipment

金橋ではハイスペックな大型、小型3軸から5軸までのCNC加工システムを揃え、東洋
大型で精密な加工が必要となる自動車部品に対応できます。



複数のプレス装置によるバネ組立ラインで、ハイスペックなプレス金
型技術も揃っています。
金橋で効率よく、低コストで精密な自動車部品の加工 西 含 産 機 器 研 究 所



市場が自動車のサンルーフ弾性樹脂製部品 製造および
自動車スライド製品の生産ラインを5包 置してあります。現在のアーク曲げ加
工装置は月3万セットの一般的なスライド製品を生産できて、サンルーフ弾性
樹脂製品を月1.5セットを生産できます。



自動車のバンパーは主な受身安全部品で、事故の時運転手やほかの道路使用者の
安全にとって至極重要です。
というわけで、各自動車生産メーカーは続々と高強度な合金で自動車のバンパー
を生産しています。



金橋自動車部品工場の自動半田システムは、高品質な半田作業を自動化し、
ポットマシン、半田専用治具チャック、自動半田装置、スモッグ処理システム、
快速測定システムを揃え、
特殊加工なバンパー組立製品の企画生産量は月に11000セットです。



Testing Equipment

PMT光学パーツを通じて、正確にアルミ合金の成分を分析できます。
シングルマトリックスとマルチマトリックスの基本仕様が揃え、及び
微量分析機能があり、オンライン雑物分析がよりよくできます。

ThermoFisher
SCIENTIFIC



全寸法浸水欠陥検出という方法で、超音波は水でカップリングし、
アルミ棒に入ります。
アルミ棒にクラック、ヒビなどの欠陥があると超音波反射が起こし、
超音波検出器は反射振幅を記録し、リアルタイムでアラームします。



測定範囲:0-50KN, 0-200KN, 0-100KN



当該装置は公差に厳しい産業アルミ材に設計しております。
解像率の高い撮影技術で型材の断面の輪郭を測定できて、自動的に報
告書をアウトプットできます。

Romdot

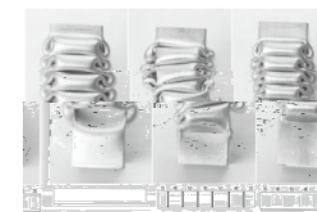


各産業に活用されます：例えばファースト部品とラスト部品の測
定、チャックの検証とプロセス制御などがあります。

HEXAGON
METROLOGY



アルミ合金バンパー準静態押しつぶしシミュレーションとテストに使用
されます。



汽车轻量化自動車の軽量化でエネルギーの消費を有効的に節約できて、有害物質の排出も控えて、環境にやさしいものです。

金橋は独自で研究開発センターを設立し、積極的にアルミ合金が自動車軽量化の材料として持続的に発展することに力を尽くします。

開発課題には：

強度、靱性、耐疲労性、溶接性能の高い新型アルミ合金の開発

横断面の複雑なアルミ型材の設計、シミュレーションと生産

熱処理工程は接続性能、衝突性能への影響

接続固定はアセンブリ性能への影響

アルミ合金自動車部品（ステアリングシステム、サブフレーム、電池トレイと

車体シャーシー）

高強度なアミル型材パイプ材；

衝撃に強い総合部品；

成形工程（MIG\FSW\液圧成形

成型工艺（MIG\FSW\液圧脹型）

准

Auto Parts Production Plant

金橋

